

II 調査結果

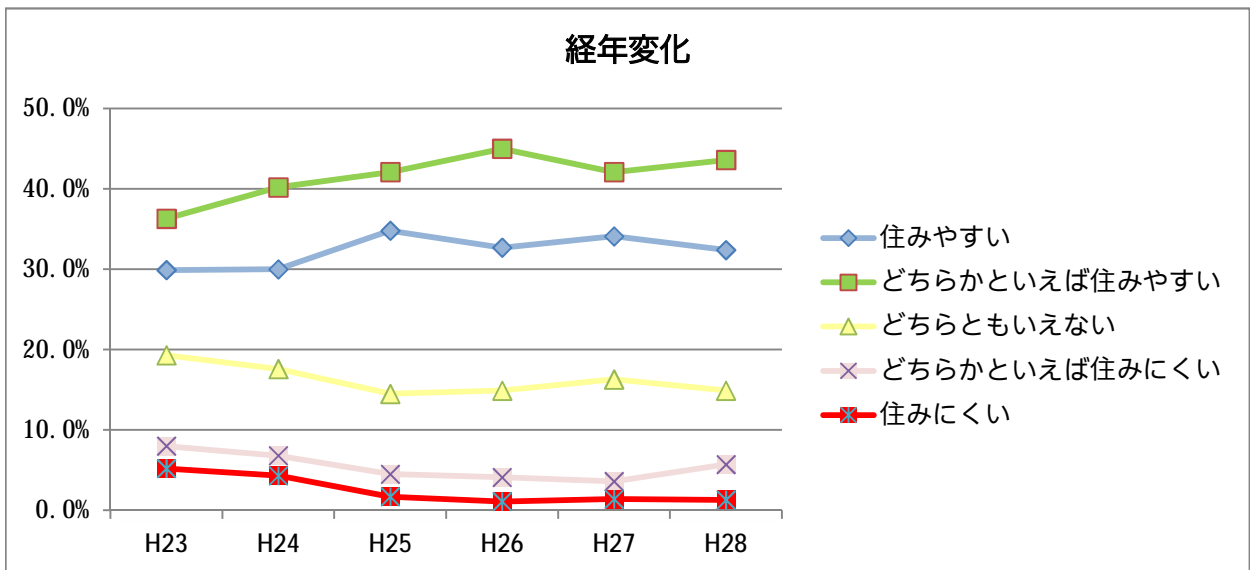
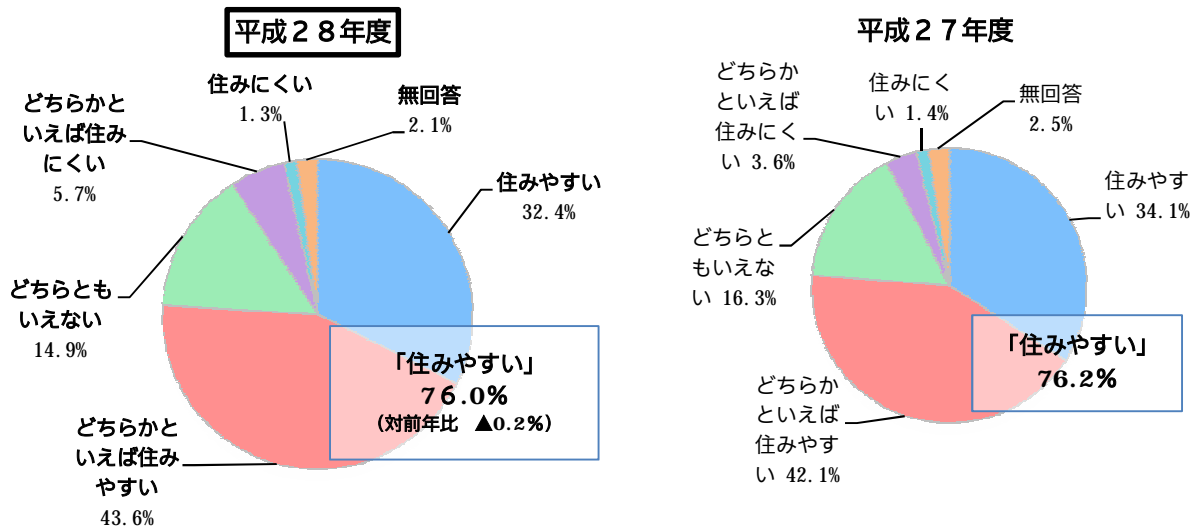
1 まとめ

(1) まちの住み心地について

本市は、「住みやすく」、これからも「住み続けたい」まちです。

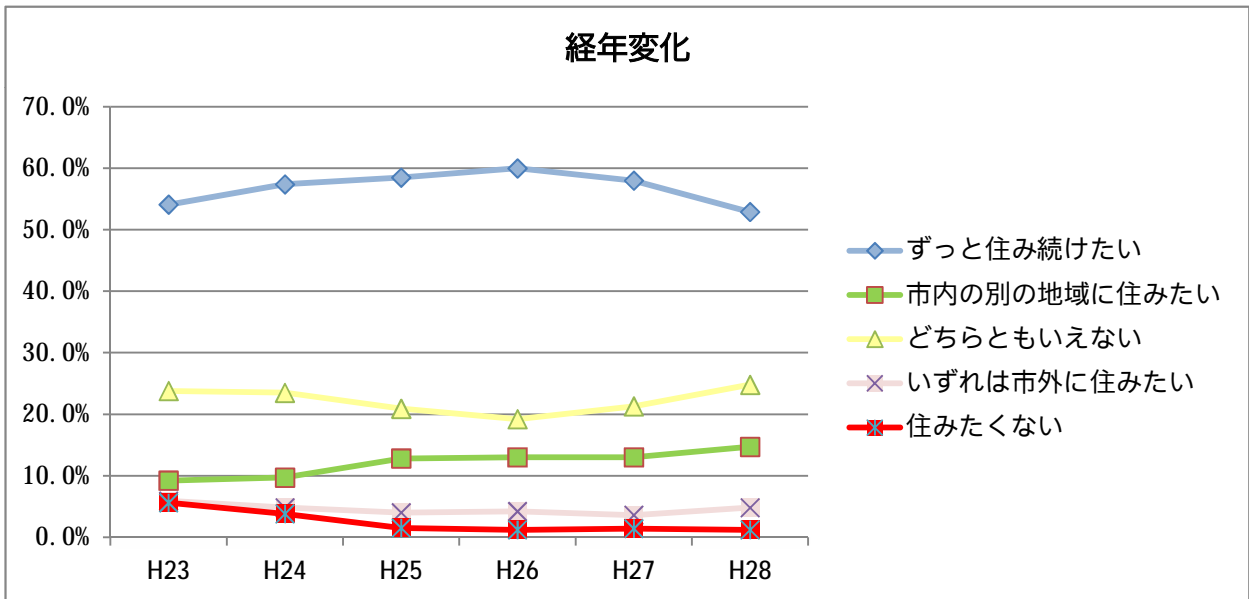
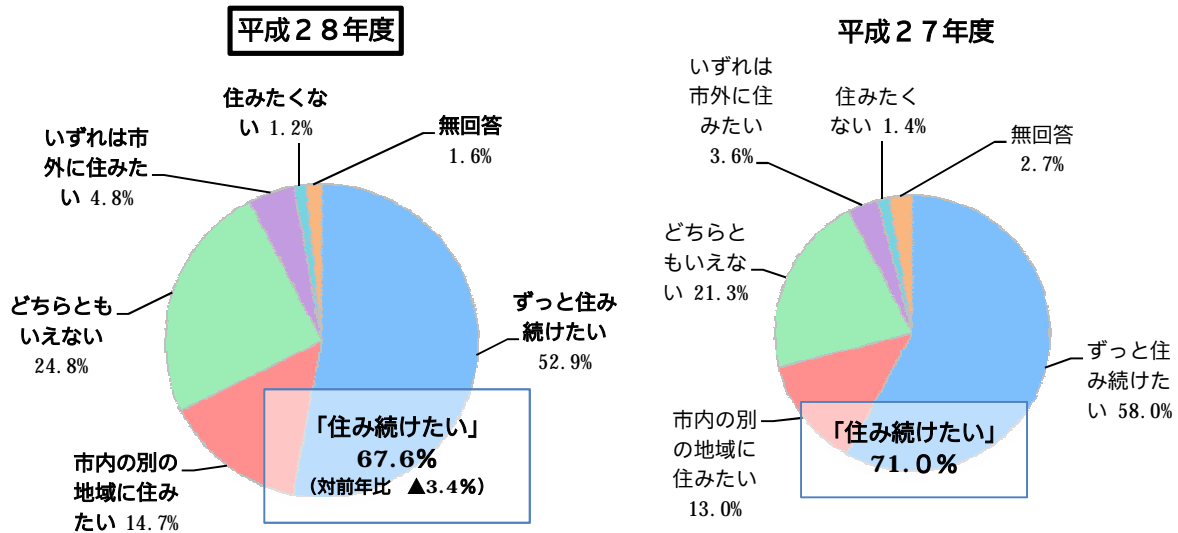
《住みやすいまちですか》

郡山市が住みやすいかをたずねたところ、「住みやすい」は32.4%で、「どちらかといえば住みやすい」の43.6%と合わせると76.0%と、約8割の方が郡山市は「住みやすい」まちと思っています。



《今後も住みたいですか》

郡山市に今後も住みたいかをたずねたところ、「ずっと住みたい」は52.9%で、「市内の別の地域に住みたい」の14.7%を合わせると67.6%と、約7割の方が郡山市に「住みたい」と思っています。



【まちの住み心地に寄せられた主な意見】

- ・生まれも育ちも郡山です。社会人の7年間程県外に行きましたが、今は郡山で暮らしています。やはり郡山は住みやすいです。(40代・女性)
- ・全般的に住みやすいと思います。(40代・女性)
- ・私の住む所は自然災害がほとんど無く、郡山は大変良い所だと思って住んでいます。(60代・女性)
- ・この街に住んで良かったと思っています。(70歳以上・男性)
- ・同じ市内でも、地域によってかなり差があります。(30代・女性)
- ・他市に比べて渋滞が多いと思う。(70歳以上・女性)
- ・他県や他の市と比べても、郡山は家賃が高いので住みにくい。(30代・女性)

(2) まちづくりについて【満足度】

現在のまちづくりに対する満足度については、市民生活の基礎となる「教育」「文化」「保健」「原子力災害対策」の分野が上位となっています。

郡山市が進めているまちづくりについて、43項目（2ページ）をあげて満足度をたずねたところ、「広聴広報」「音楽都市こおりやま」「医療」「健康づくり」「生活衛生」「生涯学習」など、市民生活の基礎となる項目が上位を占めています。また、「住環境」（5位←18位）や「健康管理」（7位←14位）が昨年度から大きく順位を上げ、「除染」（4位←8位）も順位を上げています。

【平成28年度】

順位	前年度順位	項目	
1位	(4位)	広聴広報	→
2位	(1位)	音楽都市こおりやま	→
3位	(3位)	医療	→
4位	(8位)	除染	→
5位	(8位)	健康づくり	→
5位	(18位)	住環境	↑
7位	(14位)	健康管理	↑
8位	(7位)	生活衛生	→
9位	(2位)	生涯学習	↓
10位	(6位)	歴史・文化芸術	→

【平成27年度】

順位	項目
1位	音楽都市こおりやま
2位	生涯学習
3位	医療
4位	広聴広報
5位	ごみ対策
5位	歴史・文化芸術
7位	生活衛生
8位	健康づくり
8位	除染
10位	自然環境



(3) これからの取り組みについて【重要度】

これから重点的に取り組んでほしい分野は、市民生活に密着している「福祉」「教育」「子育て」「雇用」「都市計画」が上位となっています。

郡山市が進めているまちづくり43項目（2ページ）について、重要度をたずねたところ、「高齢者福祉」「学校教育」「子育て」「医療」など、市民生活に密着した項目が上位を占めています。

また、「産業創出」（6位←10位）が昨年度から順位を上げています。

【平成28年度】

順位	前年度順位	項目	
1位	—	高齢者福祉	—
2位	(2位)	学校教育	→
3位	(2位)	子育て	→
4位	(4位)	医療	→
5位	(5位)	雇用促進	→
6位	(10位)	産業創出	→
7位	(5位)	計画的なまちづくり	→
8位	(7位)	交通・道路	→
9位	(8位)	防犯・交通安全・消費者対策	→
10位	(11位)	健康管理	→

【平成27年度】

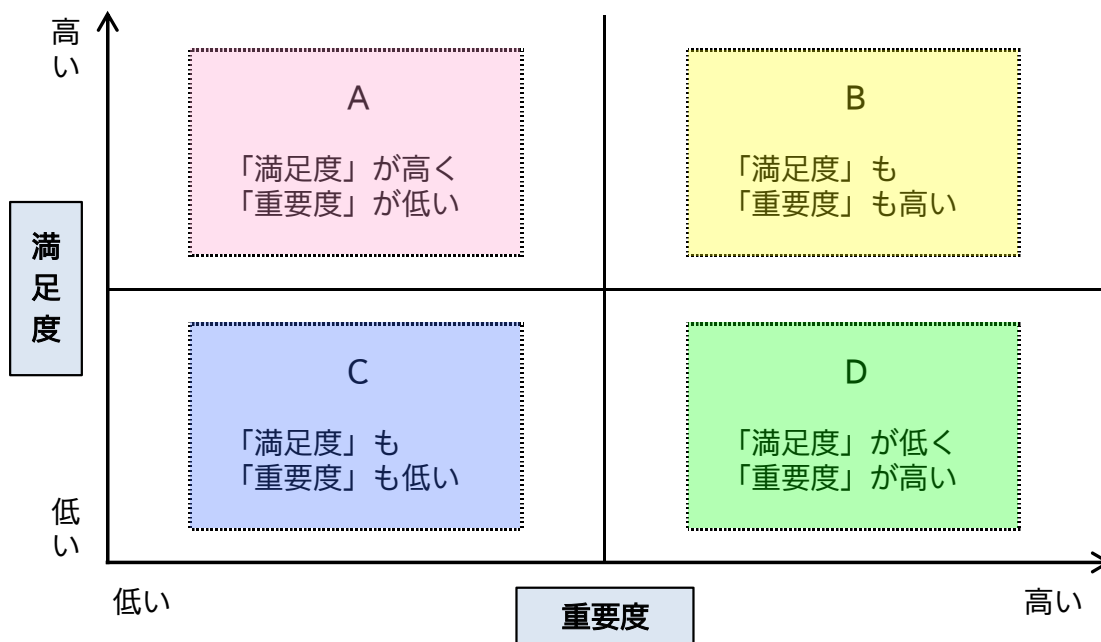
順位	項目
1位	高齢者・障がい者福祉
2位	学校教育
2位	子育て
4位	医療
5位	雇用促進
5位	計画的なまちづくり
7位	交通・道路
8位	防犯・交通安全・消費者対策
9位	青少年の健全育成
10位	産業創出

※「高齢者福祉」については、H28の新規項目（H27までの「高齢者・障がい者福祉」を「高齢者福祉」と「障がい者福祉」に分割）



＜満足度と重要度の散布図＞

本市のまちづくり（取り組み）における項目間の相対的な位置付けを整理するため、「満足度」を縦軸、「重要度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重要度」の数値を散布図に示しました。「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



- A : 維持領域
重要度は低いが満足度が高い取り組みは、現状を維持していく項目
- B : 重要維持領域
重要度が高い取り組みに満足しているということは、引き続き重点的に維持していく項目
- C : 要検討領域
重要度も満足度も低い取り組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目
- D : 重要改善領域
重要度が高い取り組みに満足していないということは、現在のやり方を変えていく必要がある項目

上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や重要度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や重要度が高い低いということとなります。

施策別散布図

